

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	2018411
園名	りんどう幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

砂や土を使ったあそび

<テーマの設定理由>

泥、砂あそびが好きな子が多く、水道や遊具を増やすことで発展の可能性があったため。

2. 活動スケジュール

2024 年 11 月 14 日園内研修

- ・砂や土を使った遊びについて話し合う。
- ・保護者に話し合った内容を園だよりで共有。

12 月 21 日～1 月 13 日水道工事

- ・工事完了を保護者に周知。
- ・子どもの遊びを園だよりで共有。

12 月 26 日ワークショップ

- ・保護者と一緒に砂場の玩具棚、屋台、机、ベンチ、木製遊具づくり
- ・保護者に作製したものを共有。

1 月 24 日、2 月 21 日職員会議

- ・足りない机、ベンチを追加で作製することを話し合う。

3 月 21 日ワークショップ

- ・保護者と一緒に机やベンチ作り

・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・今まで使用していた砂場が一か所だったので、二か所使用して子どもの遊びの様子を観察した。

・2×4材、1×4材、インパクトドライバー、グラインダー、塗料等

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、教諭との関わり等)

・作製時にも園庭で子どもが遊んでいたもので、作製過程も子どもたちが間近で見て完成を楽しみにしていた。

・水道を設置すると今まで遠くまで水を汲みに行っていたのが近くなり、より砂場遊びをする子どもが増えた。穴を大きく掘ってダムや海を作って遊ぶ姿がみられた。

・各クラスの振り返りの時間で今日の遊びの振り返り、砂場遊びの話をする子が複数名いた。



4. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

今までも砂場で遊ぶ子は多かったが、水道の設置や遊具を増やすことにより、人数も増え、遊びが展開し深まっていた。

大きな穴を掘り、汲んできた水を入れダムや海を作って遊ぶ遊びは、年齢、クラスを超えて遊んでいた。また、昨日の続きをする姿も多く発展していった。小さいクラスの子も年長児が作った穴を使って遊んだり、直接的だけでなく、砂を通して遊びが広がっていったことがわかる。

今までは、玩具の片付けに時間がかかっていたが、玩具棚ができることにより、片付ける場所が子どもたちにわかりやすく、スムーズに片付けることができるようになった。少しの配慮で子どもたちの片付けに対する意欲が増すことを再認識した。

日々の振り返りで子どもたちに今日の遊びの様子を聞くと、砂場で「〇〇をつくった」という話もよく出ていた。その話を聞くと、翌日に今まで興味がなかった子も参加して遊ぶ姿が見られ、このような振り返りの時間は必要だと思った。